

|        |        |        |        |        |     |      |
|--------|--------|--------|--------|--------|-----|------|
| 得点 [1] | 得点 [2] | 得点 [3] | 得点 [4] | 得点 [5] | 合計点 | 整理番号 |
|--------|--------|--------|--------|--------|-----|------|

## 解析学 I : 中間試験

1 枚目 (4 枚あります)

2017 年 5 月 29 日出題 13:00~15:00

学生番号

氏名

- |        |
|--------|
| 得点 [1] |
|--------|
- [1]  $X, Y$  を空でない集合とし,  $U, U_\alpha (\alpha \in A)$  は  $X$  の部分集合,  $V, V_\beta (\beta \in B)$  は  $Y$  の部分集合とする.  
写像  $f: X \rightarrow Y$  について, 以下の (1)~(3) に答えよ. (25 点)
- (1)  $f^{-1}\left(\bigcup_{\beta \in B} V_\beta\right) = \bigcup_{\beta \in B} f^{-1}(V_\beta)$ ,  $f^{-1}\left(\bigcap_{\beta \in B} V_\beta\right) = \bigcap_{\beta \in B} f^{-1}(V_\beta)$ ,  $f\left(\bigcup_{\alpha \in A} U_\alpha\right) = \bigcup_{\alpha \in A} f(U_\alpha)$  を示せ.
- (2)  $f\left(\bigcap_{\alpha \in A} U_\alpha\right) = \bigcap_{\alpha \in A} f(U_\alpha)$  が任意の  $\{U_\alpha\}$  に対して成り立つことと,  $f$  が単射であることは同値である.  
これを示せ.
- (3)  $f^{-1}(V^c) = (f^{-1}(V))^c$  を示せ.

## 解析学 I：中間試験

2 枚目 (4 枚あります)

2017 年 5 月 29 日出題 13:00~15:00

氏名

得点 [2]

[2] Lebesgue 可測な  $\mathbb{R}$  の部分集合の全体を  $\mathcal{L}$  とし、 $\mathbb{R}$  上の Lebesgue 測度を  $m$  とする。  
以下の各命題が正しいかどうか、理由とともに述べよ。

(30 点)

- (1)  $E \in \mathcal{L}$  が有界ならば、 $m(E) < +\infty$  である。
- (2)  $\mathbb{R}$  の開集合  $G$  が  $m(G) < +\infty$  をみたすなら、 $G$  は有界である。
- (3) 1 点集合  $\{a\} \subset \mathbb{R}$  は零集合である。
- (4)  $E \in \mathcal{L}$  が零集合ならば、 $E$  は高々可算集合である。
- (5)  $E \in \mathcal{L}$  とする。  $E$  が内点をもてば、 $m(E) > 0$  である。
- (6)  $E \in \mathcal{L}$  が  $m(E) > 0$  をみたせば、 $E$  は内点を持つ。

# 解析学 I: 中間試験

3 枚目 (4 枚あります)

2017 年 5 月 29 日出題 13:00~15:00

氏名

得点 [3]

[3]  $f: \mathbb{R} \rightarrow \mathbb{R}$  は連続関数とする. また,  $\mathcal{B}(\mathbb{R})$  は  $\mathbb{R}$  の Borel 集合全体がなす  $\sigma$  加法族とする.  $B \in \mathcal{B}(\mathbb{R})$  ならば  $f^{-1}(B) \in \mathcal{B}(\mathbb{R})$  であることを次の手順で示せ.

(1)  $\mathcal{C} := \{C \subset \mathbb{R}; f^{-1}(C) \in \mathcal{B}(\mathbb{R})\}$  は  $\sigma$  加法族である.

(2)  $\mathcal{C}$  は  $\mathbb{R}$  の任意の開集合を含む. したがって, (1) と  $\mathcal{B}(\mathbb{R})$  の定義から,  $\mathcal{C} \supset \mathcal{B}(\mathbb{R})$  となる. (15 点)

得点 [4]

[4]  $(X, \mathcal{B}, \mu)$  を測度空間とする.  $E_n \in \mathcal{B}$  ( $n = 1, 2, \dots$ ) が  $\sum_{n=1}^{\infty} \mu(E_n) < +\infty$  をみたすならば,

$\limsup_{n \rightarrow \infty} E_n := \bigcap_{n=1}^{\infty} \bigcup_{k=n}^{\infty} E_k$  とおくと、 $\mu(\limsup_{n \rightarrow \infty} E_n) = 0$  であることを示せ.

(15 点)

# 解析学 I：中間試験

4 枚目 (最後のページです)

2017 年 5 月 29 日出題 13:00~15:00

---

氏名

---

得点 [5]

[5] 各  $A \subset \mathbb{R}$  に対して,  $\mathcal{C}_A$  は有限開区間の列  $\{(a_j, b_j)\}_{j=1}^{\infty}$  ( $a_j < b_j; \forall j$ ) で  $A \subset \bigcup_{j=1}^{\infty} (a_j, b_j)$  となるものの全体とする. このとき, 各  $A \in \mathcal{P}(\mathbb{R})$  に対して,

$$m^*(A) := \inf \left\{ \sum_{j=1}^{\infty} (b_j - a_j) ; \{(a_j, b_j)\} \in \mathcal{C}_A \right\}$$

と定義すると,  $m^*$  は外測度であることを示せ.

(15 点)